

**令和7年6月定例会議事録**

**令和7年6月5日**

**鹿屋市教育委員会**

○日 時 令和7年6月5日(木)  
15時から16時30分まで

○場 所 教育長室

○出席者

教育長	中 野 健 作
教育長職務代理者	遠 矢 達 一
教育委員	浜 田 幸 史
教育委員	四郎園 佳 恵
教育委員	前 田 あ ゆ

○関係者

教育次長	隈 元 成 人
教育総務課長	原 添 耕 作
学校教育課長	小 野 武 利
生涯学習課長	宇 井 知 隆
教育総務課課長補佐	原 田 竜 哉
教育総務課総務係長	徳 永 仁

○議事日程

1 開会

2 前回議事録の承認

3 教育長及び委員の報告

4 議事

(1) 議案第7号 鹿屋市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について

5 報告

(1) 鶴峰小学校閉校記念事業実行委員会設立総会について

(2) 令和7年度鹿屋市総合防災訓練への参加について

(3) 青少年育成市民会議について

(4) 第42回大会中国・四国・九州地区生涯教育実践研究交流会への参加について

(5) 図書館まつりについて

(6) 市民講座・高齢者大学について

(7) 楽団プロジェクトコンサート「宮沢賢治と音楽の世界」について

6 動議の討論等

7 その他

(1) 鹿屋女子高「学校要覧」について

8 閉会

○議決事項

議案番号	件 名	審議の状況	採決次第
議案第7号	鹿屋市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について	特記事項なし	原案可決

○議事要旨

1	開 会
教育長	<p>皆さんこんにちは。</p> <p>梅雨入りしたが青空が見える良い天気が続いている。</p> <p>昨日から2泊3日の日程で、台湾の小学校から児童と教員が来鹿し、西原小学校と交流会が行われた。とても良い交流ができたようだ。今後、数校程度の台湾の小学校から来鹿予定である。鹿屋女子高と台湾の女子高の交流会も予定しており、合計200人程度の来鹿が見込まれる。ホストファミリーの協力を得てホームステイ先の準備をしっかりと整え、家庭での交流が、相互に良い体験になるようサポートしたい。</p> <p>一方、インフルエンザによる学級閉鎖になる学校が出ている。感染症は、寒い時期に流行する認識であったが、現在は年間を通して流行している。手洗いやうがいなど基本的なことが感染防止に重要である。</p> <p>本日もよろしくお願ひしたい。</p>
2	前回議事録の承認
教育長	異議なく承認
3	教育長及び委員の報告
前田委員	<p>寿北小学校の学校訪問に伺い大変勉強になった。マスク着用の教員は、症状があるからなのか校長先生に尋ねてみたが、そうではないようであった。児童に教員の表情が見えないが、コミュニケーションは取れているのかと疑問に感じた。</p>
教育長	<p>学校や学級で、感染症の症状がある場合や状況に応じた対処は必要であるが、お互いの表情を見てコミュニケーションをとる事が教育に必要なことであり、校長に伝えておく。</p>
四郎園委員	<p>笠野原小学校に学校訪問に伺った。校舎がL字型で校庭に面している設計が良い印象を受けた。樹木が美しく、配管も綺麗に改修された体育館になっていた。特別支援学級では、黒板の子ども達への視覚情報の掲示方法が工夫されていた。分かりやすさの追求は、どの学級も同じだと思ふため、共有できる部分は広げてほしい。それがインクルーシブ教育の始まりなのではないかと感じた。タブレットや電子黒板を活用した授業に興味があり、注意深く見させていただいて感じたことは、授業全てをICT端末で進めるのではなく、タブレットやノートの使い分けをすることで視点も広がるのではないか。図書室は綺麗に本が整頓されており、たくさん子ども達が読書しているのだと感じたが、学級</p>

	<p>文庫はどうなっているのか気になった。読書は特別なことではなく、もっと身近に子ども達の周りに本がある状態になっていくと良い。鹿屋女子高の図書館だよりは、図書室から学級文庫に定期的に入れ替えをしており、良い取り組みである。今、小学校で、読書推進部に関わっており、学級文庫や読み聞かせのことなどを考えることが多く、学校訪問で勉強させていただいた。</p>
4	<p>議事</p> <p>(1) 議案第7号 鹿屋市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について</p> <p>資料に基づき説明</p> <p>原案可決とすることに異議はないか。</p> <p>(異議なしとの発言)</p> <p>異議がないので、議案第7号は、原案可決とする。</p>
5	<p>報告</p> <p>(1) 鶴峰小学校閉校記念事業実行委員会設立総会について</p> <p>資料に基づき説明</p> <p>(2) 令和7年度鹿屋市総合防災訓練への参加について</p> <p>資料に基づき説明</p> <p>消防団の避難誘導係として防災訓練に参加したが、総合防災訓練について近隣住民等に事前告知はあったのか。訓練参加者は、手順などの事前説明があったものの、同日小学校の遠足があり訓練参加者なのか迷った担当もいたようだ。</p> <p>訓練の告知については本市の安全安心課が主導し実施した。今回、地元周辺の園児や地元町内会の代表者のみの参加で行った。</p> <p>(3) 青少年育成市民会議について</p> <p>資料に基づき説明</p>

教育長	実施に伴う参加者や運営側の感想等を伺いたい。
生涯学習課長	青少年育成に熱心な方々の集まりであり、基本的に賛同していただいている。この事業を継続することが大事であると考えている。
四郎園委員	サマーベースキャンプ事業の目的を見ると時代の変化を感じる。過去に子どもを10日間のキャンプに参加させ、メディアから離れた自炊生活を体験し、とても良い経験になった。サマーベースキャンプは、とても大切な経験になると思い興味がある。家庭内でスマートデバイスの使用時間を制限しているが、学校の授業ではタブレットを活用している。家庭でスマートデバイスを使用したメディアやSNSに対する子どもとの向き合い方を実践的にできないのかと思う。学校訪問のときにも感じたが、現代の子ども達は、コミュニケーションツールとしてスマートデバイスを使うことが日常になっているのは確かである。理論は分かるが、実際にはなかなかうまくいかず、家庭での声の掛け方や見守り方等、保護者は困惑していると思う。
生涯学習課長	それぞれの子どもに合った答えがきっとある。一方で大切なのは、リテラシーだと思っており、適切な使い方をそれぞれの子どもが見つげ出すことが大事だと思う。サマーベースキャンプは、一時的にメディアから離れることで、メディアの有り難みやメディアの功罪が分かるのではないかと考える。今後も推し進めて取り組みたい事業である。継続させるには、結果を保護者や子ども達、市民に知らせ、意向分析など何かしら役立つのではないかと考える。
学校教育課長	学校ではタブレットの持ち帰りを勧めているが、家庭での使用目的や使用時間が非常に問題になっており、学校によっては持ち帰りを躊躇する事態になっている。高校に至っては、全ての課題がタブレットで出されるため、21時から22時まで使用する場合が多い。結局は、使う子ども達の道徳性や人権意識が非常に大事になる。将来的にICTが必須になる。SNSで人を傷つけないなど、基本的な利用方法を小学校の低学年の段階からきちんと教えなければならない。学校でスマートデバイスを勧める以上は、学校側が指導しなければならない。頭ごなしに伝えるのではなく、指導の仕方を学校でも苦しみながら進め学んでいる。委員会としても学校をサポートしていき、学校と保護者が協力しながらより良い活用方法を見出したい。
教育長	学校の方向性や指導力を大いに活用し示す必要がある。保護者が働

<p>浜田委員</p>	<p>値観を一方向的に押し付けてもよくない。子どもも理論上は分かっていると思う。地道に取り組む必要がある。</p> <p>サマーベースキャンプの狙いや意図は素晴らしいと感じ、児童会や生徒会などのリーダー格の児童生徒は喜んで参加すると思う。不登校や引きこもりの子ども達も対象になっているようだが、6泊7日という日数がハードルになってしまわないか懸念する。柔軟な対応ができるのか。</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>参加前に対面やWeb上で本人と保護者の面談を考えている。参加の意思があってもこの期間の生活に耐えることができるのか、特別な配慮の必要があるのかなどを確認する必要がある。以前、在勤していた他市の「ふるさと学寮」で、約1週間の宿泊学習を実施した。親元を離れて生活すると、3日目にホームシックにかかる子どもがいたが、これを乗り越えると楽になるようだ。経験上、こういったことは理解しており、実施前の面談時に話をしたいと思う。</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>(4) 第42回大会中国・四国・九州地区生涯教育実践研究交流会への参加について</p> <p>資料に基づき説明</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>(5) 図書館まつりにについて</p> <p>資料に基づき説明</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>(6) 市民講座・高齢者大学について</p> <p>資料に基づき説明</p>
<p>教育長</p>	<p>中央公民館での講座数が前年度よりも減ったようだが、要望に答えられないものが多かったということか。</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>移動した講座や、講師の都合で開設が困難などの理由である。次回、令和8年度の改善点とする。また、短期講座の開設もしている。主に夏休みや冬休み期間が中心で、子ども達が参加しやすい講座が多く開設される。市民のニーズによって中央公民館のみではなく全体の市民講座で展開していきたい。</p>

遠矢委員	中央公民館がリナシティかのや内に機能が移り、手続き関係が中央公民館の場合と異なるようであるが、学校関係や地元の団体など明確な利用団体で、定期的に利用する場合は、簡略化するなどできないものか。リナシティかのやの手続き規則があると思うが。鹿屋小中校区のPTAが、これまでは中央公民館を利用していたが、リナシティかのやの手続き上、串良ふれあいセンターを利用したようだ。
生涯学習課長	鹿屋市PTA連絡協議会が、11月に開催予定の「PTAフェスティバル」の運営委員会で利用したようだ。この会議は、学校区の単位PTAではなく鹿屋市内の各PTAから選出された運営委員が参加する会議であり、昨年度までは東地区学習センターを利用していたが、駐車場の関係で串良ふれあいセンターに変更したものだと思う。
教育長	手続きが煩雑であるとか、難しくなったなどの意見はあるのか。
生涯学習課長	中央公民館と比較すると、(指摘のある理由で)多少使用しづらくなったという意見がある。中央公民館の機能が加わったことを意識させる必要があり、月に一度リナシティかのやへの職員指導や打合せを行っている。
教育長	市民目線になった改善改革が必要であり、リナシティかのやに中央公民館の表示板が必要ではないのか。手続きに関しては、慣れるまで周知を続けるべきであると考える。
生涯学習課長	(7) 楽団プロジェクトコンサート「宮沢賢治と音楽の世界」について 資料に基づき説明
6	動議の討論等
教育長	発言がないので、動議はないものとする。
7	その他
学校教育課長	(1) 鹿屋女子高「学校要覧」について 資料に基づき説明
教育長	次回の定例教育委員会は、令和7年7月10日(木)15時00分から教育

	長室で行う。
8	閉会
教育長	以上をもって6月定例教育委員会を閉会する。 以上